東海道とは

東海道は江戸と上方を結んだ江戸時代最大の幹線道路です。
江戸・京都間には五十三の宿場が置かれ、参勤交代の大名から一般庶民に至るまで、公用に、商用に、また物見遊山にと、多くの人々が行き交いました。

保土ヶ谷宿

神奈川宿

川崎宿

平塚宿

藤沢宿

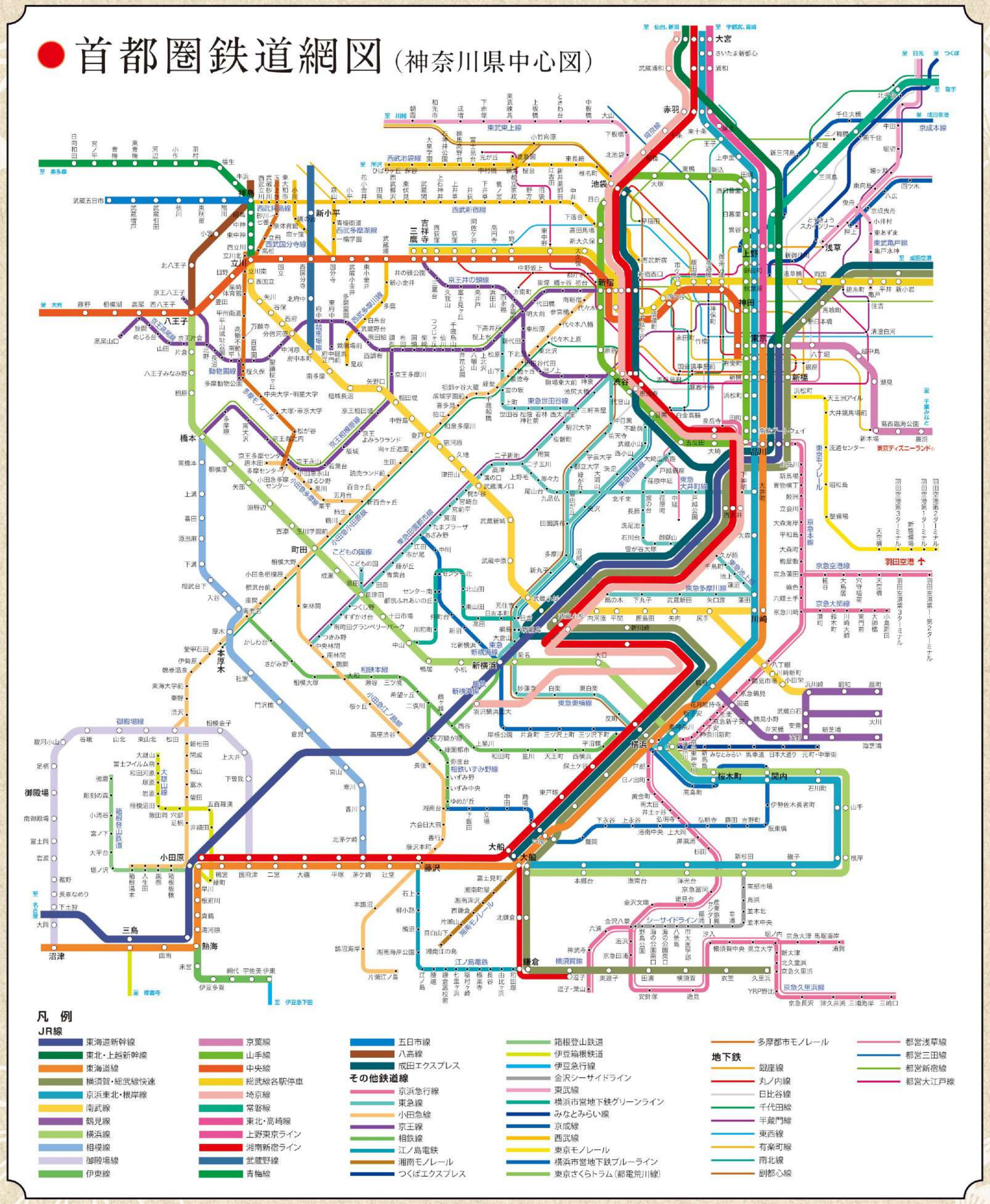
戸塚宿

箱根宿

小田原宿

大磯宿

首都圏鉄道網図（神奈川県中心図）



1 川崎宿

川崎宿は他の宿から遅れて元和九年（一六二三年）につくられ、川崎大師信仰とともに栄え、旅人や多くの参拝客でにぎわいました。
「東海道かわさき宿交流館」では、川崎宿の歴史・文化を学べます。

2 神奈川宿

神奈川宿には東海道有数の景勝地として知られる「袖ケ浦」がありました。
神奈川湊と東海道をあわせもつ交通の要衝として栄え、日米修好通商条約では、開港の場として定められました。

3 保土ヶ谷宿

江戸を出て最初の難所となる急坂「権太坂」の手前にあった宿場町です。当時「権太坂」を登るつらさは厳しいもので、旅人の多くは保土ヶ谷宿で休息してから坂越えに挑んだといわれています。

4 戸塚宿

昔の旅は、一日十里（約四十キロ）の行程が一般的でした。戸塚宿は、江戸から十里の距離に位置したうえ、大山道・鎌倉往還との分岐点でもあり、大変なにぎわいをみせました。

5 藤沢宿

藤沢宿は、東海道、大山道、江の島道、八王子道などが集まる宿場町でした。清浄光寺（通称・遊行寺）、伝義経首洗い井戸や白旗神社など多くの史跡があります。

6 平塚宿

平塚宿は、八王子道や大山への道との分岐点にあたり、古くから物資や人の交流が盛んで、交通の要でした。
街道沿いは、家来を引き連れた大名や荷物を運搬する人などで活気にあふれていました。

7 大磯宿

化粧坂付近の山王町の旧道、大磯中学校前など、道中のいたるところで松並木が見られる大磯宿。『曽我物語』の虎伝説や俳諧道場の鴫立庵など、江戸時代から名所の多い宿場町としてにぎわいました。

8 小田原宿

江戸時代には大久保氏十一万三千石の城下町であり、箱根の山越え、関所を控えた東海道屈指の宿場町として栄えました。小田原城や板橋の旧道など、貴重な史跡に数多く出会えます。

9 箱根宿

箱根宿は、小田原・三島の両宿から五十軒ずつを芦ノ湖畔に移住させて開かれたといわれます。箱根は街道一の難所であり、道は雨が降るとすねまでつかる泥濘（でいねい）となるため石畳が敷かれました。

神奈川県アンテナショップ
かながわ屋

かながわ屋では、地元神奈川の名産品や特産、新たな県産品の魅力をお届けしています。獲れたて野菜や人気の銘菓を体感してもらえるアンテナショップとして、皆さまをお待ちしております。

場　　所：そごう横浜店地下2階食品売場（横浜西区高島2-18-1）
営業時間：10時～20時（営業時間はそごう横浜店に準じます）
運　　営：公益社団法人 神奈川県観光協会
☎ 045-620-8535（店舗直通）

観光かながわNOW

https://www.kanagawa-kankou.or.jp/
☎045-681-0007
神奈川県観光協会

発行：神奈川集中観光キャンペーン実行委員会事務局
（公社）神奈川県観光協会内
電話：045（681）0007

制作・編集：株式会社 武揚堂

神奈川県観光地図

東海道神奈川九宿 宿場探訪

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。（承認番号 平27 情使、第547号）」